



Title	文理融合研究戦略ワーキング・ワークショップとは
Author(s)	
Citation	GLOCOLブックレット. 2009, 2, p. 75-79
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/48305
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

文理融合研究戦略ワーキング・ワークショップとは

第1回ワークショップは、ワーキング委員を通じて発表希望を募り、さまざまな部局や分野から29件のプロジェクトが集まった。ワークショップは学会形式で行い、それぞれ15分の持ち時間で報告を行い、ワークショップ終了後に情報交換の機会を設けた。たいへん過密なスケジュールだったが、多数の参加者を得て充実した内容となった。

このワークショップ後の総括において、第1回に発表されたものの以外にも報告されるべきプロジェクトがあることが指摘された。そこで全学の部局長を通じて周知して「文理融合研究の展望2」の発表希望者を募り、第2回のワークショップを2006年12月17日(日)に大阪大学中之島センターで開いた。第1回と同じように学会形式を採り、10件の報告の後、情報交換を行った。

注)以下の所属・肩書きは開催当時のもの

文理融合研究戦略ワーキング第1回ワークショップ 「文理融合研究の展望」

日時:2006年3月11日(土)9:50-18:45

場所:千里ライフサイエンスセンター

.....
司会:小泉潤二(人間科学研究科教授)

盛岡 通(工学研究科教授)

サステナブルサイエンスと環境リスク管理

堤 研二(文学研究科准教授)

「環境ガバナンス」ほかについて

鳴海邦碩(工学研究科教授)

美しい風土づくりに関する文理融合研究風土学の構築

澤木昌典(工学研究科教授)

環境ガバナンス(トータル・アメニティ・マネージメント)と安心安全社会

新田保次(工学研究科教授)

人口減少・超高齢社会におけるまちづくり
武田 裕(中之島センター長兼医学系研究科教授)
医療情報学とヘルス・マネジメント―彩都健康都市構想を中
心に―
片倉啓雄(工学研究科准教授)
社会の安全・安心・健康を担う専門家を育てるための教育
三浦利章(人間科学研究科教授)
視覚的注意と安全性
笠井秀明(工学研究科教授)
知的財産管理における法学と工学の連携必要性
高等研モデルによる研究運営
「ナノスピントロニクスデザインと創製」での経験から
長井英生(基礎工学研究科教授)
金融工学・数理ファイナンスとインシュアランス
八木康史(産業科学研究所教授)
全方位ビジョンと広域監視
森本兼曩(医学系研究科教授)
健康と創造
吉崎和幸(保健センター教授)
文理融合による生活習慣病の克服
磯 博康(医学系研究科教授)
健康創造健康リスクマネジメントコミュニティにおける検
証
杉田義郎(保健センターセンター長兼教授)
睡眠とは何か
.....
司会: 本多佑三(経済学研究科教授)
平井 啓(CSCD・人間科学研究科・医学系研究科助教)
医療における行動とコミュニケーション
井村 修(人間科学研究科教授)
筋ジストロフィー患者の療養におけるコミュニケーションの
問題
古荘純次(工学研究科教授)
リハビリテーションおよび手術支援ロボットにおける文理融
合(ロボティクス・メカトロニクスからの視点)
黒木尚長(医学系研究科准教授)
医療と法「医療関連死の包括的ADR」
中岡成文(文学研究科教授兼コミュニケーションデザイン・セン

ターセンター長)
元気がでる倫理はないのか
浜口智志(工学研究科教授)
持続可能エネルギーシステムの構築(スタンフォード日本セ
ンターとの共催による環境・エネルギーワークショップ報告)
藤田喜久雄(工学研究科教授)
プロダクトデザインにおける横断性と文理融合について
西田正吾(基礎工学研究科教授)
文理融合型アプローチによるコミュニケーション支援の研究
沼尾正行(産業科学研究所教授)
ソーシャルネットワーク、ソーシャルキャピタル、ロコミ
大坊郁夫(人間科学研究科教授)
社会性をより増すための対人コミュニケーション能力の開発
前迫孝憲(人間科学研究科教授)
新時代の学習のためのインターフェース
小泉潤二(人間科学研究科教授)
人間の安全保障
加藤博一(基礎工学研究科准教授)
メディアアートとテクノロジー

文理融合研究戦略ワーキング第2回ワークショップ
「文理融合研究の展望2」
日時: 2006年12月17日(日) 14:00-18:05
場所: 大阪大学中之島センター
.....
司会: 二神孝一(経済学研究科教授)
小林 茂(文学研究科教授)
マラリアに対する文化的適応と遺伝的適応: 赤血球の遺伝
子多形の分布と文化・社会
池田光穂(コミュニケーションデザイン・センター教授)
臨床コミュニケーションプログラムの開発
霜田 求(医学系研究科准教授)
遺伝子診療と倫理・社会
臼井伸之介(人間科学研究科教授)
不安全行動生起に関する心理学的研究
関 嘉寛(コミュニケーションデザイン・センター助教)
減災コミュニケーションデザイン研究の事例
.....

司会:小泉潤二(人間科学研究科教授)
渡邊雅行(人間科学研究科特任研究員)
人道支援に対する地域研究からの国際協力と評価:被災社会との共生を実現する復興・開発をめざして
平川秀幸(コミュニケーションデザイン・センター准教授)
サイエンスショップを作る～文理融合・社会学連携のOJTの場として
小口一郎(言語文化研究科准教授)
理工系ESP(専門英語)教育の研究—教材開発と教育実践
岸野文郎(情報科学研究科教授)
アンビエント情報社会を実現する先端融合研究
高原 渉(工学研究科助教)
人間基盤物質科学の創成

文理融合研究戦略ワーキング 第3回ワークショップ 「多様性・持続性:サステイナビリティ学教育の挑戦」

日時:2008年2月15日(金)14:00-18:00

場所:千里ライフサイエンスセンター

開会挨拶:小泉潤二(大阪大学理事、副学長)
味埜 俊(東京大学大学院新領域創成科学研究科教授・サステイナビリティ学連携研究機構兼任教授)
サステイナビリティ学教育の挑戦—高等教育について“サステイナビリティ”の持つ多様性をどう扱うか
石井善明(サステイナビリティ・サイエンス研究機構特任教授)
サステイナビリティ社会を支える技術と評価手法
住村欣範(グローバルコラボレーションセンター准教授)
食の転換期を迎えたベトナムにおける文理協働型の共同研究の可能性について

全体討論

司会:宮本和久(グローバルコラボレーションセンター特任教授)
パネリスト:
味埜 俊(東京大学大学院新領域創成科学研究科教授・サステイナビリティ学連携研究機構兼任教授)
栗本英世(グローバルコラボレーションセンターセンター長)
峯 陽一(グローバルコラボレーションセンター副センター長)

石井善明(サステイナビリティ・サイエンス研究機構特任教授)
住村欣範(グローバルコラボレーションセンター准教授)